



4月便り

春です。あまりむつかしいお話はせずに、楽しくまいりましょう。桜のお話、桜と言えばお花見です。いつ頃からお花見は始まったのでしょうか。歴史を眺めると、やはり京都のお花見が語られます。

お花見の起源は、神泉苑が、延暦13年(794)桓武天皇により禁苑(皇居の庭園で、天皇しか入れない庭)として造営された。平安京(大内裏)の南東に位置し、現在の二条城の南側になりますが、当初は二条城より広かったようです。今は少しこじんまりとしたところですが、お花見の話に戻ります。

弘仁3年(812)2月12日、嵯峨天皇が神泉苑の桜の木をご覧になり、文人達に詩を読ませたのがお花見の始まりと言われています。桓武天皇の以後、歴代天皇は神泉苑で宴遊され、官中行事が盛んにおこなわれました。その中で嵯峨天皇により花見が始められたということです。

また、弘法大師が、淳和天皇の

勅命により、日照りの際に雨ごいをして祈ったとあります。そして雨が降り日本中が潤ったと言われます。その後もたびたびの日照りの際には、多くの名僧が祈雨を行うようになりました。

時は流れ、後白河法皇が雨ごいをさせた時、坊主たちではかなわなかったが、その後、白拍子の舞で、最後に舞った静御前が雨を降らせたとか、その時に一の谷で平氏を討った源義経を後白河法皇が招いていたので、そこで静御前との恋が芽生えたようです。

頼朝は鎌倉から動かなかった人なので、平氏を倒す義経が天皇から招かれ、のちに兄弟の不和となっていたようです。頼朝から追われる義経は、白雪に染まった吉野山にて悲しみに暮れる静御前と別れる事となりました。

後白河法皇からすると、義経は、六孫王神社、清和源氏の祖である源経基が清和天皇の六番目の孫であったからということ、その子孫である義経を神泉苑に招いていたようです。こういうお話を聞きながら、京都にお花見に出かけるのも楽しくなりますね。



令和四年4月おもしろ記念日

4月の誕生石は【ダイヤモンド】

1 (金)	エイプリルフール	
2 (土)	子どもの本の日	
3 (日)	インゲン豆の日	
4 (月)	あんぱんの日	
5 (火)	ヘアカットの日	
6 (水)	城の日	
7 (木)	世界保健デー	
8 (金)	忠犬ハチ公の日	
9 (土)	大仏の日	
10 (日)	駅弁の日	
11 (月)	ガッツポーズの日	
12 (火)	東京大学創立記念日	
13 (水)	ボーイスカウトの日	
14 (木)	タイタニック号の日	
15 (金)	東京ディズニーランド開園記念日	
16 (土)	チャップリンデー	
17 (日)	恐竜の日	
18 (月)	発明の日	

19 (火)	地図の日	
20 (水)	郵政記念日	
21 (木)	民放の日	
22 (金)	よい夫婦の日	
23 (土)	シジミの日	
24 (日)	日本ダービー記念日	
25 (月)	歩道橋の日	
26 (火)	国際盲導犬の日	
27 (水)	婦人警官記念日	
28 (木)	象(ゾウ)の日	
29 (金)	昭和の日 豊の日	
30 (土)	図書館記念日	